

米ハワイ・ホノルル市のワイキキビーチで、あす8日夜(日本時間9日)、新潟県長岡市の大火花が打ち上げられる。

長岡は、戦争回避を望みつつも、ハワイの軍港・真珠湾への攻撃を指揮した山本五十六元帥の故郷。そして長岡もまた終戦間際、米

### 山本五十六の故郷 長岡の花火

軍の空襲で焦土と化した。ハワイ長岡花火は「敵味方なく戦争犠牲者を鎮魂するために、ハワイでも見てほしい」とホノルルに呼びかけたのが始まりだ。さらに戦後70年の今年15日、終戦の日にあわせ、8月15日16日に、あの真珠湾でも打ち上げられることが決まった。

長岡市では毎年、空襲を受けた8月1日を前夜祭とし、2日と3日に戦没者を悼む大規模な花火を打ち上げてきた。日本屈指の花火大会として知られている。

本来、最初の花火は11年3月13日に上がるはずだったが、大震災が発生、ハワイも津波警報に入り中止に。長岡市も新潟県中越地震で被災している。今度の避難支援する番だ」と大震災の避難者を受け入れ、市民は被災地で慰霊と激励の花火を上げた。

大震災の1年後、初めてハワイの空に開いた長岡花火の意味合いは、おのずと「震災そして震災犠牲者の鎮魂」になった。その歴史と意義がハワイでも広く理解され、終戦記念日に真珠湾での打ち上げも実現することになった。

# 3・10と3・11 記憶をつなぐ長岡花火

鎮魂の花火を題材にした映画「この空の花 長岡花火物語」が、2012年からハワイを含む各地で上映されている。制作した大林宣彦監督に、ハワイでの長岡花火の意義を聞く。

(編集委員 保高芳昭)

が、疎開の列車が出る上野駅までずっと、街が焼け落ちていたぞうです。

私たちの世代には忘れようにも忘れられない日の一つです。でも最近、3月10日は「東京大空襲の日」ではなく「あす東日本大震災の日」になりつつある。

これではおそろしく、大震災の記憶もすぐに風化してしまつてしまうでしょう。

3月10日は東京大空襲の、11日は東日本大震災の慰霊の日です。そして今年には直前の9日(日本時間)にハワイ長岡花火が上がる。これは、天の配りではないかと思いません。

妻は子どもの時、東京で大空襲に遭いました。あまり多くは語りがありません。

戦後70年 伝える

戦災も震災も、風化させてはならないのです。10日、11日と続く追悼の日を、それぞれ、しっかりと胸に刻む。10日を風化させなければ、11日も風化しない。そして9日のハワイ長岡花火は、戦争にも地震にも深い

夏の花火を大きくしてきました。夏は長岡での花火は、ま

長岡は空襲で焼け、地震で傷つきながら、そのつと空襲が始まった時刻に「白

手向けの菊

菊」という、真っ白い花火だけが開きます。戦争犠牲者への手向けの菊です。

そして2日と3日には、華やかで多彩な花火が続いた後、空襲警報のようなサイレンが鳴ってから、巨大な三尺玉がドーンと上がる。あの日、空から降り注いだ爆弾を、空にまもて返すかのよう。

放浪の画家・山下清は代表作の貼り絵「長岡の花火」とともに、「みんなが爆弾なんか作らないで、きれいな花火ばかり作っていた



映画作家 おおばやし のぶひこ 大林 宣彦さん 77

1938年、広島県尾道市生ま

れ。60年代から、テレビ、ラジオ、劇場、映画、舞台、少年少女向け、尾道3部作と映画作家としての活動

ら、きつと戦争なんて起きなかつたんだな」という言葉を残しました。あの花火を見たら、本当にその通りだと思えます。

さらに、新潟県中越地震が起きた後に復興を願って加わったのが「フェニックス」という、三尺玉もかすむほど壮大な仕掛け花火。これも、どんな災害にだって負けるものかという魂がある。冬場の厳しい雪を、おいしい米や酒の恵みに変えてきた、雪国らしい強さも感じます。

私が長岡花火を初めて見た、背景にある物語を知ったのは、2009年のことでした。この歴史と思想を伝えなければならぬと思え、映画を撮りました。

12年3月、長岡花火がワイキキビーチを初めて彩った時、一緒に見上げていたアメリカ人の若者が言ったんです。

「アメリカの花火はパーンと上がってパーンと消えて、爆弾みたいだけど、日本の花火はゆっくり開いてゆっくり消えて、消えた後に何か、やさしい暗闇が残る」と。

だから長岡の花火に込められた意味は、世界中の人に必ず伝わるものだとおもっています。

